

平成 19 年 10 月 16 日

保護者の皆様

広島市立中島小学校
校長 井崎 明

平成 19 年度 「基礎・基本」定着状況調査結果についての概要(お知らせ)

平成 19 年 6 月 12 日、広島県内の小学校 5 年生全員(563 校・26159 名)を対象に、国語・算数における前学年までの学習内容の定着状況調査及び生活と学習に関する意識・実態についての質問紙調査が実施されました。その結果は広島県教育委員会のホームページ(ホットライン教育ひろしま)に通過率(正答率+準正答率)などが公表・掲載されています。

本校では、今回の調査結果を今後の指導に役立てるために、《国語》《算数》《生活と学習に関する意識・実態調査》それぞれに関する分析を行いましたので、その概要をお知らせいたします。

- 《国語》
- ・ 県平均通過率……64.2%
 - ・ 市平均通過率……63.7%
 - ・ 本校平均通過率…67.2%

本年度は「書くこと」の領域における出題内容がかなり難しかったため、昨年度に比べると通過率が全体的に低くなっています。しかし、本校の平均通過率は、県・市の平均を本年度も上回っています。今後も、「伝え合う力を育てる」という本校の研究テーマと関連させながら、

- ・ 段落相互の関係を考え、文章を正しく読んだり書いたりさせる指導
 - ・ 文章全体の組み立ての効果を考えて、日記や読書感想文を書かせる指導
- 等を継続していきます。

- 《算数》
- ・ 県平均通過率……75.6%
 - ・ 市平均通過率……75.8%
 - ・ 本校平均通過率…70.3%

本校の平均通過率は、県・市の平均よりも低い結果が出ています。領域別に見ると、「図形」と「量と測定」においてかなり課題があることが把握できました。今後は、この課題の改善に向けて、

- ・ 日常生活との関連を重視し、体験をとおして量を実感させる指導
 - ・ 具体的な操作活動をとおして、図形の構成要素を理解させる指導
- 等の充実を図っていきます。

《生活と学習に関する意識・実態調査》

本校の児童は、基本的な生活習慣はかなり身につけているようです。しかし、わずかですが、テレビを見たりテレビゲームをしたりする時間が3時間以上、家庭での学習時間が30分間より少ない児童もいます。学校でも「生活習慣がんばりカード」等を活用し、生活習慣を振り返らせるとともに、自ら課題を見つけ改善していくための個別指導を進めていきます。